

第1回 上田市上下水道審議会 次第

日 時 平成30年7月23日（月）午後3時開会

場 所 上田市役所本庁舎6階大会議室

1 開会

2 人事通知書交付

3 上田市長あいさつ

4 審議会委員自己紹介

5 上下水道局出席者自己紹介

6 正副会長選出 会長 副会長

7 正副会長あいさつ

8 議事

（1）上下水道審議会について（資料 1、2）

（2）上下水道局の組織について（資料 3）

（3）水道事業の概要について（資料 4）

（4）下水道事業の概要について（資料 5）

（5）上下水道局重点目標について（資料 6）

（6）水道事業・下水道事業ビジョンの考え方について（資料 7、8）

9 その他

10 閉会

平成 30 年 7 月 23 日

上下水道審議会

資 料 1

上田市上下水道審議会条例

平成 18 年 7 月 1 日

条例第 304 号

(設置)

第 1 条 上田市水道事業及び下水道事業の管理運営に関し、必要な事項を調査審議するため、上田市上下水道審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(任務)

第 2 条 審議会は、上田市水道事業及び下水道事業の管理運営に関する事項について、水道事業及び下水道事業の管理者の権限を行う市長(以下「管理者」という。)の諮問に応じて調査審議をするものとする。

(組織)

第 3 条 審議会は、委員 20 人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験のある者及び関係者のうちから、管理者が委嘱する。

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

3 委員の任期が満了したときは、当該委員は、後任者が委嘱されるまで引き続きその職務を行うものとする。

(会長及び副会長)

第 5 条 審議会に会長及び副会長を置き、委員が互選する。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(専門委員)

第7条 審議会に、特別な事項を調査審議するため、管理者が必要と認めるときは専門委員を置くことができる。

2 専門委員は、学識経験のある者のうちから管理者が委嘱する。

3 専門委員は、当該事項に関する調査審議が終了したときは、解任されるものとする。

(補則)

第8条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、管理者が別に定める。

附 則

この条例は、平成18年7月1日から施行する。

附 則(平成22年4月28日条例第18号)抄

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

平成 30 年 7 月 23 日

上下水道審議会

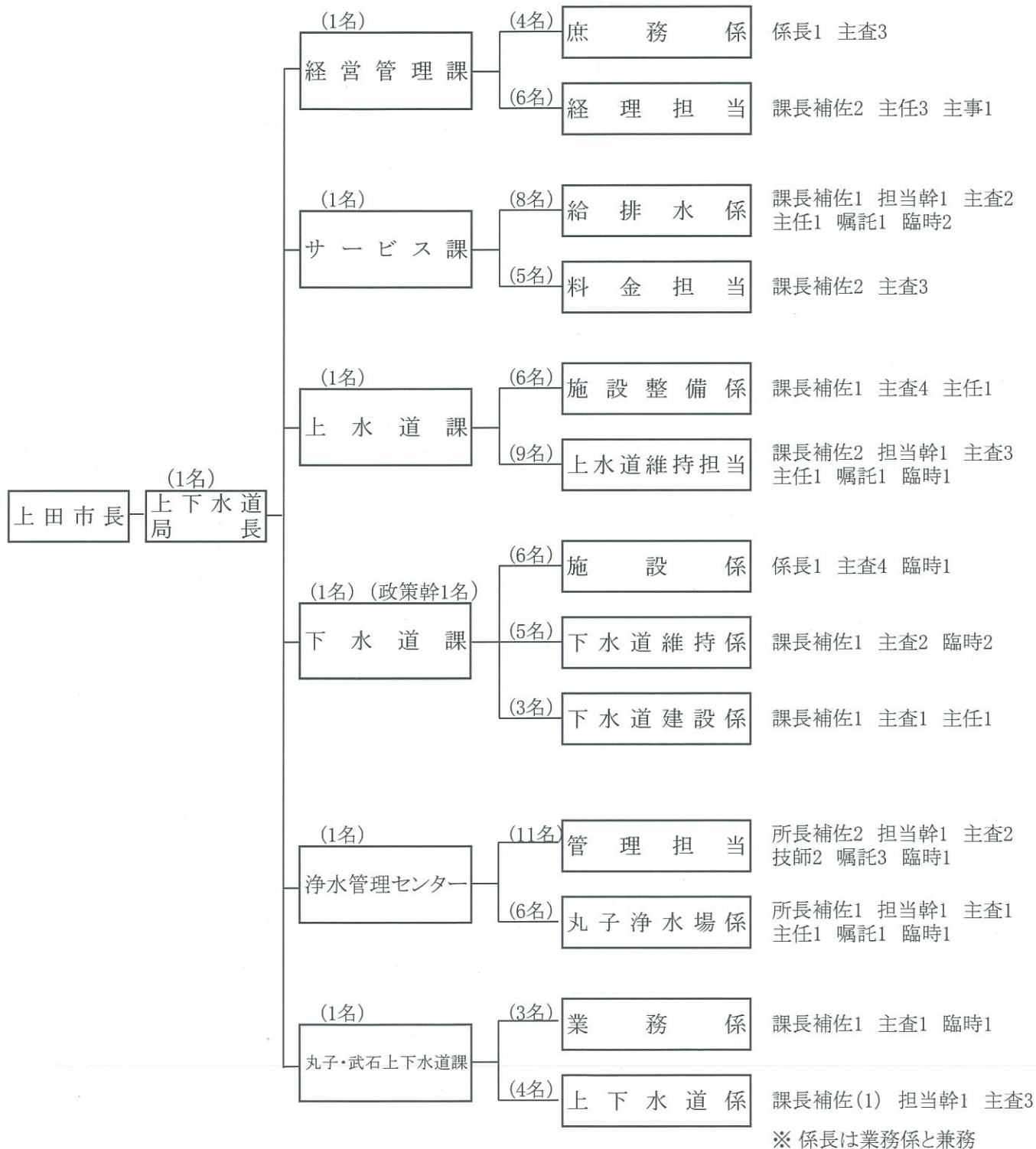
資 料 2

第 6 期上下水道審議会スケジュール（案）（平成 30 年度分）

年度	月 日	主 な 内 容
H30 年度	7 月 23 日	第 1 回審議会 委嘱状交付 上下水道事業の概要 上下水道局重点目標（H29 期末及び H30 当初） 水道事業・下水道事業ビジョンの概要 今後の日程説明
	11 月上旬	第 2 回審議会 水道事業・下水道事業ビジョンについて説明 「水道事業・下水道事業ビジョン」（原案）提示 質疑・応答 （次回審議会までに意見等を FAX 等でいただく。） 施設見学、平成 29 年度決算
	12 月上旬	第 3 回審議会 「水道事業・下水道事業ビジョン」（原案）に係る意見・質問に対する回答について 質疑・応答
	12 月中旬～ 1 月中旬	パブリックコメント（水道・下水道合わせて）
	2 月上旬	第 4 回審議会 パブリックコメントで出された意見・質問に対する回答について 修正した部分の説明 質疑・応答 （次回審議会までに意見等を FAX 等でいただく。）
	2 月下旬	第 5 回審議会 「水道事業・下水道事業ビジョン」（原案）に係る質疑・応答に対する回答について 「水道事業・下水道事業ビジョン」の内容決定 料金改定について

1 上田市上下水道局組織

平成30年7月1日現在



経 営 管 理 課 上下水道局の総括に関すること

庶務係

局の総合調整及び庶務、議会对応、職員服務・給与、労務対応、研修、福利厚生、入札・契約、例規の制定・改廃、主管課として処理する事務

経理担当

上下水道事業予算・決算、経営分析、料金改定、金銭出納、貯蔵品管理、消費税

サ ー ビ ス 課 上下水道の料金、下水道受益者負担金・分担金、宅内給排水設備に関すること

給排水係

宅内給排水設備・工事受付審査、検査、指定工事事業者、責任技術者試験、水洗化の普及促進、農集加入金、汚水量認定、量水器購入管理、検満メーター取替

料金担当

上下水道料金の調定・還付充当、減免、下水道受益者負担金・分担金

上 水 道 課 上水道事業の総括に関すること

施設整備係

上水道事業の総合調整・認可申請、上水道事業計画・建設(設計監督)、水源開発

上水道維持担当

上水道施設の維持管理(管路修繕、漏水調査)・運営、緊急故障対応、当番店対応

下 水 道 課 下水道事業の総括に関すること

施設係

水質規制関係、公害防止、事業所排水指導、公共下水道・農集排水処理施設維持管理、設備台帳、処理場関係調査

下水道維持係

公共下水道・農集施設(管渠)の維持管理、取付管新增設、地域循環プロジェクト、管渠関係・農集調査

下水道建設係

下水道事業の総合調整・認可申請、下水道事業の調査・計画、所管地域の下水道施設建設

浄水管理センター 浄水施設の総括に関すること

管理担当

染屋・石舟浄水場の運転管理、水質検査(水源、河川、浄水場、水道水)、取水・導水・送水・配水設備の維持管理

丸子浄水場係

腰越・鹿教湯浄水場の運転管理、所管地域の水質検査(水源、河川、浄水場、水道水)、取水・導水・送水・配水設備の維持管理

丸子・武石上下水道課 丸子・武石地域上下水道の総括に関すること

業務係

所管地域の上下水道事業計画、予算・決算、下水道受益者負担金・分担金関係、宅内給排水設備工事受付審査

上下水道係

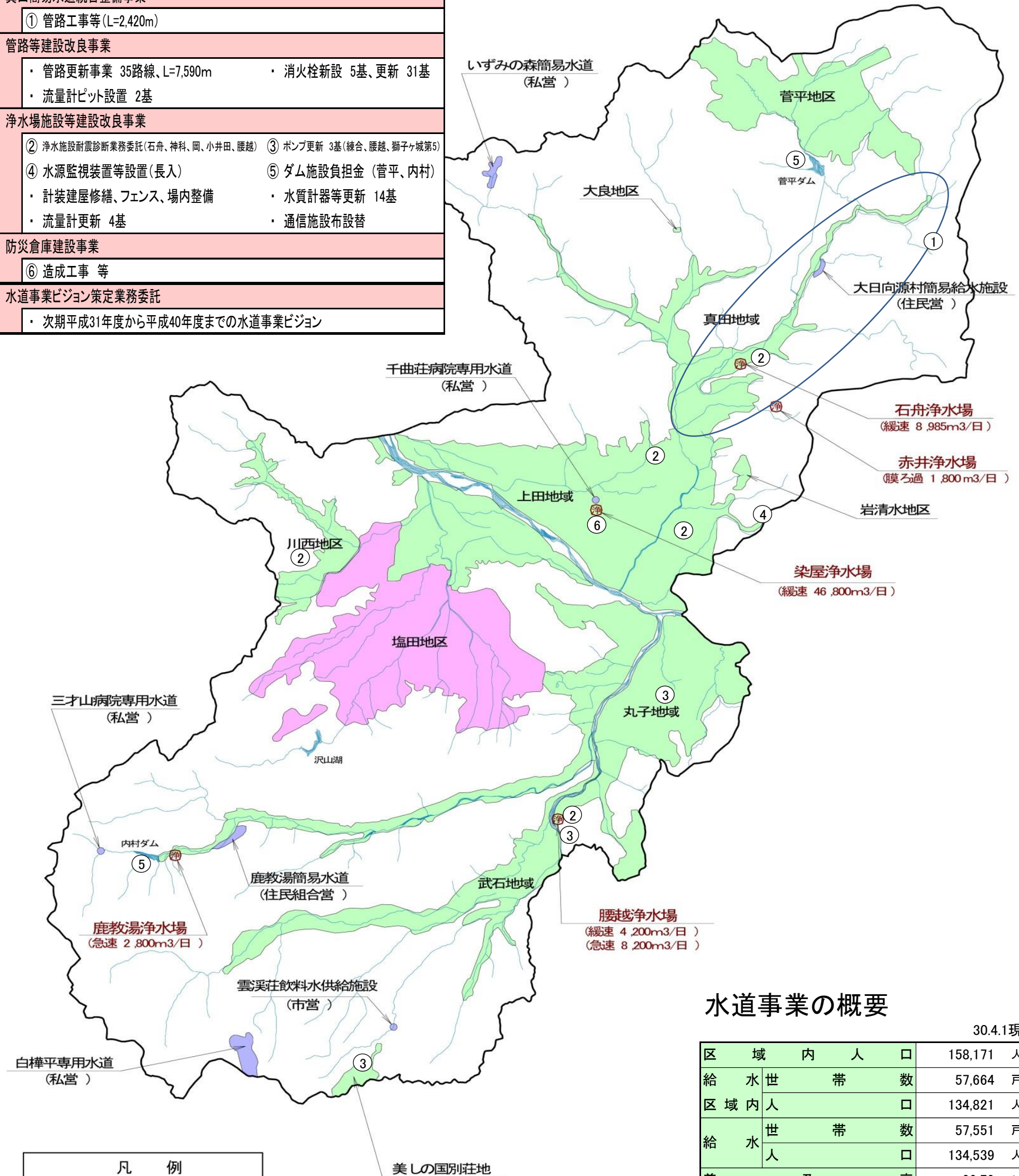
所管地域の上水道事業計画、水源の水質調査・保全、配水管工事設計積算、漏水調査

所管地域の下水道事業計画・設計・積算、水質規制・事業場排水指導、各施設・設備の維持管理

平成30年7月1日現在

職員数	課 別	局長	課長	政策幹	課長補佐	係長	担当幹	主査	主任	主事	技師	正規計	嘱託	臨時	合計
	局長	1										1			1
	経営管理課		1		2	1		3	3	1		11			11
	サービス課		1		3		1	5	1			11	1	2	14
	上水道課		1		3		1	7	2			14	1	1	16
	下水道課		1	1	2	1		7	1			13		3	16
	浄水管理センター		1		3		2	3	1		2	12	4	2	18
	丸子・武石上下水道課		1		1		1	4				7		1	8
	計	1	6		14	2	5	29	8	1	2	69	6	9	84

真田簡易水道統合整備事業	
① 管路工事等 (L=2,420m)	
管路等建設改良事業	
・ 管路更新事業 35路線、L=7,590m	・ 消火栓新設 5基、更新 31基
・ 流量計ピット設置 2基	
浄水場施設等建設改良事業	
② 浄水施設耐震診断業務委託 (石舟、神科、岡、小井田、腰越)	③ ポンプ更新 3基 (練合、腰越、獅子ヶ城第5)
④ 水源監視装置等設置 (長入)	⑤ ダム施設負担金 (菅平、内村)
・ 計装建屋修繕、フェンス、場内整備	・ 水質計器等更新 14基
・ 流量計更新 4基	・ 通信施設布設替
防災倉庫建設事業	
⑥ 造成工事 等	
水道事業ビジョン策定業務委託	
・ 次期平成31年度から平成40年度までの水道事業ビジョン	



凡 例		
	上田市上水道	給水区域
	県 水 水 道	給水区域
	その他の水道	給水区域
	浄 水 場（市営）	

30.4.1現在

区 域 内 人 口	158,171 人
給 水 世 帯 数	57,664 戸
区 域 内 人 口	134,821 人
給 水 世 帯 数	57,551 戸
人 口	134,539 人
普 及 率	99.79 %
年 間 配 水 量	17,605,578 m ³
年 間 有 収 水 量	14,722,211 m ³
有 収 率	83.6 %
1 日 最 大 配 水 量	52,835 m ³
1 日 平 均 配 水 量	48,234 m ³

(上田市下水道事業 概要図)

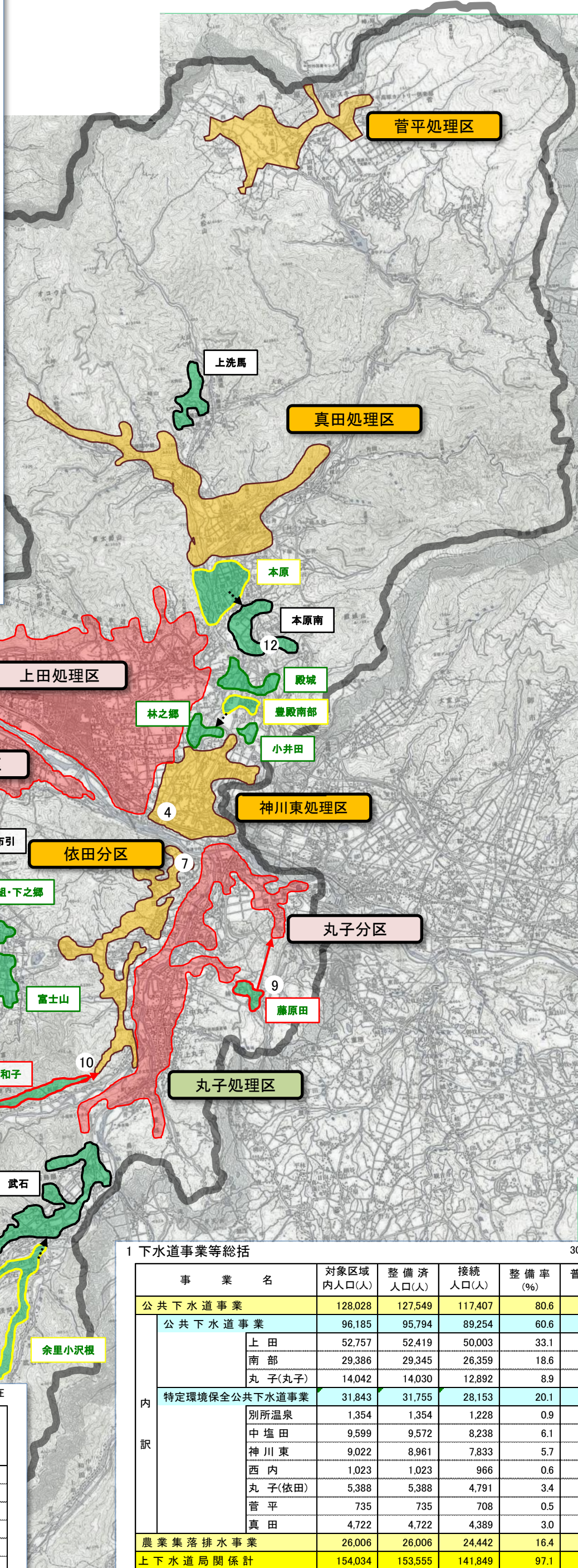
平成30年7月23日
上下水道審議会
資料5

公共下水道事業会計

長寿命化事業	
① 上塩尻中継ポンプ場設備更新工事 ② 下塩尻中継ポンプ場設備更新工事 ③ 西内浄化センター設備更新工事(特環) ④ 神川東中継ポンプ場設備更新工事(特環)	
・管更生工事	・ストックマネジメント計画策定
地震対策事業	
① 耐震化工事(上塩尻中継ポンプ場) ② 耐震化工事(下塩尻中継ポンプ場) ⑤ 耐震工事実施設計(上田終末処理場) ⑥ 耐震工事実施設計(南部終末処理場) ⑦ 耐震工事実施設計(丸子浄化センター) ⑧ 耐震工事実施設計(別所温泉終末処理場:特環)	
管路等更新事業	
・マンホール更生工事	
管路整備事業	
・管渠工事	・取付管工事 ・未整備箇所管路工事
農業集落排水の公共下水道への統合事業	
⑨ 管渠接続工事(藤原田地区) ⑩ 管渠測量設計(和子・荻窪地区)	
・下水道認可変更	
南部終末処理場関連環境対策事業	
⑥ 臭気対策(脱臭装置設置等) ⑥ 緑化整備	
新下水道事業ビジョン策定業務 次期平成31年度から平成40年度までの新下水道ビジョンの策定	

農業集落排水処理施設機能強化事業

農業集落排水処理施設機能強化事業	
⑪ 機能診断調査(室賀処理場)	⑫ 機能診断調査(本原南処理場)
⑬ 機能強化工事(岡処理場)	
・最適化整備構想策定(古安曾、富士山、八木沢、上洗馬、室賀、本原処理場) ・費用対効果算定業務(岡、本原南、本入)	



公 共 下 水 道			3处理区	
特 環 公 共 下 水 道			7处理区	
農 業 集 落 排 水	農 集 ⇒ 公 共 (計 画)		13地区	26地区
	農 集 ⇒ 公 共 (実 施 中)		3地区	
	農 集 ⇒ 公 共 (計 画)		3地区	
	統 合 対 象 外		7地区	

2 公共下水道事業の処理場の状況

30.4.1 現在

処 理 場 名	基本計画 処理能力 ($\text{m}^3/\text{日}$)	認 可 処理能力 ($\text{m}^3/\text{日}$)	現 在 処理能力 ($\text{m}^3/\text{日}$)	日 平 均 流入水量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	敷地面積 (m^2)	供用開始年月日
上田終末処理場	29,900	29,450	35,250	22,397	53,600	昭和47年 7月 1日
南部終末処理場	21,450	21,450	21,450	8,845	40,000	平成11年12月 1日
別所温泉終末処理場	1,200	1,200	2,400	841	9,940	平成 7年12月 1日
丸子浄化センター	11,000	8,800	8,800	5,569	30,000	平成11年 3月27日
西内浄化センター	2,200	2,200	3,300	1,880	11,670	昭和62年12月15日
菅平浄化センター	4,500	4,500	4,500	1,732	22,000	昭和60年 6月24日
真田浄化センター	3,200	3,200	3,200	1,085	5,570	平成 9年 4月 1日
合 計	73,450	70,800	78,900	42,349	172,780	

1 下水道事業等総括

30.4.1現在

事 業 名		対象区域 内人口(人)	整 備 済 人口(人)	接 続 人口(人)	整 備 率 (%)	普 及 率 (%)
公 共 下 水 道 事 業		128,028	127,549	117,407	80.6	80.6
内 訳	公 共 下 水 道 事 業	96,185	95,794	89,254	60.6	60.6
	上 田	52,757	52,419	50,003	33.1	33.1
	南 部	29,386	29,345	26,359	18.6	18.6
	丸 子(丸子)	14,042	14,030	12,892	8.9	8.9
	特定環境保全公共下水道事業	31,843	31,755	28,153	20.1	20.1
	別所温泉	1,354	1,354	1,228	0.9	0.9
	中 塩 田	9,599	9,572	8,238	6.1	6.1
	神 川 東	9,022	8,961	7,833	5.7	5.7
	西 内	1,023	1,023	966	0.6	0.6
	丸 子(依田)	5,388	5,388	4,791	3.4	3.4
	菅 平	735	735	708	0.5	0.5
	真 田	4,722	4,722	4,389	3.0	3.0
農 業 集 落 排 水 事 業		26,006	26,006	24,442	16.4	16.4
上 下 水 道 局 関 係 計		154,034	153,555	141,849	97.1	97.1
合 併 処 理 浄 化 槽 等		4,135	-	2,522	-	1.6
合 計		158,169	153,555	144,371	97.1	98.7

重点目標一覧表

【平成29年度重点目標】			【平成30年度重点目標】		
1	重点目標	持続可能な事業運営の推進	重点目標	持続可能な事業運営の推進	
	具体的な重点取組項目（簡条書き）		具体的な重点取組項目（簡条書き）		期限・数値目標等
	①収納率の向上 水道料金・下水道使用料（現年度分） 【目標：水道99.26%、下水道99.15%】 ②水洗化の促進 ③広域連携に向けての研究・検討 ④経営戦略で定めた事業計画の見直し、ローリング ⑤人材の育成 【目標：上下水道技術関係受講者26人、作業資格取得講習会受講者10人】		①収納率の向上 水道料金・下水道使用料（現年度分） ②水洗化の促進 ③広域連携に向けての研究・検討 ④事業計画の見直し ⑤人材の育成 ・外部研修・資格取得研修の受講		①収納率 水道 99.33%以上 下水道 99.19%以上 ②新規接続 750戸 ③水道事業運営研究会への参加 全体会1回、広域防災体制分科会1回、 水質検査分科会2回、料金徴収分科会2回、 施設・給水エリア分科会1回 ④計画の見直しと実施計画、予算への反映 ⑤事務系講習会 延べ5人 上下水道技術関係 延べ24人 作業資格取得講習会 延べ13人
	達成状況・達成度		達成状況・達成度		
	①水道99.33%、下水道99.19% 計99.26% ②新規接続目標750戸に対し850戸接続 113.3%目標達成 ③全体会2回、広域防災体制分科会3回、料金徴収分科会3回、水質分科会1回、施設・給水エリア分科会2回参加。災害時の応急活動の連携に関する協定を締結。 ④事業計画を見直し、当初予算、実施計画へ反映 ⑤外部研修、資格取得研修の受講 ・上下水道技術関係 延べ37人 ・作業資格取得講習会 延べ15人		達成状況・達成度		
2	重点目標	きれいで安全な水を供給する上水道事業の推進	重点目標	きれいで安全な水を供給する上水道事業の推進	
	具体的な重点取組項目（簡条書き）		具体的な重点取組項目（簡条書き）		期限・数値目標等
	①水源水質検査の強化体制の継続 ・水源の水質検査【目標：クリプトスポリウム13箇所30検体指標菌23箇所112検体】 ②真田地域簡易水道統合事業の推進 ③水道事業ビジョン策定（H29～H30）		①水源の水質検査強化 ・水源の水質検査 ②真田地域簡易水道統合事業の推進 ③水道事業ビジョン策定		①クリプトスポリウム検査 12箇所26検体 指標菌検査 20箇所92検体 ②延長1.2km（整備率54%） ③3月末公表
	達成状況・達成度		達成状況・達成度		
	①クリプトスポリウム13箇所30検体 指標菌23箇所112検体検査完了 ②配水池N=1池、減圧槽N=1池、管路L=4.0km【完了】 ③水道事業ビジョン【発注済】 耐震化計画、アセットマネジメントの 基礎となる簡易耐震診断(全54箇所)完了。		達成状況・達成度		
3	重点目標	上水道施設の計画的な維持・更新	重点目標	上水道施設の計画的な維持・更新	
	具体的な重点取組項目（簡条書き）		具体的な重点取組項目（簡条書き）		期限・数値目標等
	①上水道管路耐震化 【目標：延長4.0km】 ②ポンプ場の設備更新 ・上洞ポンプ場の設備更新 ・尾野山ポンプ場の設備更新 ③腰越浄水場の薬品注入設備更新 ④有収率の向上 【目標：86%】 ⑤浄水場及び配水池等の耐震診断業務		①上水道管路耐震化 ②ポンプ設備更新 ③薬品注入設備ほか更新 次亜塩素注入装置、水質計器、監視装置 ④有収率の向上 ⑤浄水場及び配水池等の耐震診断業務		①延長4.0km ②上田1箇所 丸子3箇所 武石1箇所 ③上田2箇所 丸子2箇所 真田3箇所 武石1箇所 ④86.0% ⑤上田6箇所 丸子1箇所
	達成状況・達成度		達成状況・達成度		
	①L=2.2km【完了】L=2.5km【発注済】 （真田地域簡易水道統合事業を除く） ②ポンプ場の設備更新 ・上洞ポンプ場設備更新延期 ・尾野山ポンプ場設備更新完了 ③腰越浄水場薬品注入設備更新完了 ④83.62% ⑤浄水場及び配水池等の耐震診断業務完了		達成状況・達成度		
4	重点目標	下水道施設の計画的な維持・更新	重点目標	下水道施設の計画的な維持・更新	
	具体的な重点取組項目（簡条書き）		具体的な重点取組項目（簡条書き）		期限・数値目標等
	①長寿命化事業の実施 ②新下水道ビジョン策定（H29～H30） ③下水道未整備箇所の解消 ④農業集落排水の公共下水道への統合事業推進 ⑤農業集落排水施設の機能強化事業の実施		①南部終末処理場の環境対策 ②長寿命化事業及び耐震化事業の実施 ③下水道事業ビジョン策定 ④農業集落排水の公共下水道への統合事業推進 ⑤農業集落排水施設の機能強化事業の実施 ⑥下水道未整備箇所の解消		①緑化整備工事（芝張り等）の完了 追加脱臭設備設置工事の完了 ②西内処理場の更新工事の完了 上塩尻・下塩尻ポンプ場の更新工事の着手 上塩尻・下塩尻ポンプ場の耐震化工事の完了 ストックマネジメント計画の策定 ③3月末公表 ④藤原地区の接続管渠実施設計、工事着手 ⑤岡処理場の機能強化工事の実施 ⑥上田地域：7箇所解消 丸子地域：2箇所解消
	達成状況・達成度		達成状況・達成度		
	①更新工事 1処理場完了、1処理場発注済 実施設計 1処理場・1ポンプ場完了 ストックマネジメント計画策定発注済 ②新下水道ビジョン策定発注済 ③上田地域：7箇所解消、1箇所発注済 丸子地域：1箇所発注済 ④3処理場の財産調査完了 ⑤3処理場の実施計画書作成完了 岡処理場の実施設計完了		達成状況・達成度		
5	重点目標	災害に強い体制の構築	重点目標	災害に強い体制の構築	
	具体的な重点取組項目（簡条書き）		具体的な重点取組項目（簡条書き）		期限・数値目標等
	①災害時等、緊急時の体制整備 ②防災訓練の実施 【目標：応急給水訓練2回、他水道事業体との合同訓練1回、 緊急連絡管操作訓練1回、灯油等流入事故対応訓練1回】		①災害時等、緊急時の体制整備 ②防災訓練の実施 ③上田市下水道事業継続計画（BCP）の見直し		①震災対策マニュアルの具体的業務項目 の見直し ②応急給水訓練2回、他水道事業体との 合同訓練1回、緊急連絡管操作訓練1回、 灯油等流入事故対応訓練1回 ③見直し版の策定
	達成状況・達成度		達成状況・達成度		
	①震災対策マニュアルの初動体制（～72時間） を改訂。 ②応急給水訓練 4回実施済 他水道事業体との合同訓練 3回実施済 緊急連絡管操作訓練 1回実施済 灯油等流入事故対応訓練 1回実施済		達成状況・達成度		

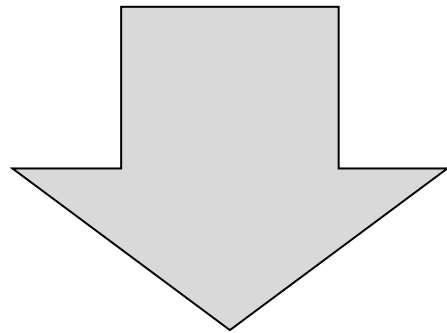
※ 評価基準 [◎：目標を上回る達成] [○：目標どおり達成] [△：目標未達成の部分あり] [×：全て目標未達成]

水道事業ビジョンの考え方について ～水道事業の将来構想の政策方針～

平成30年7月23日
上下水道審議会
資料 7

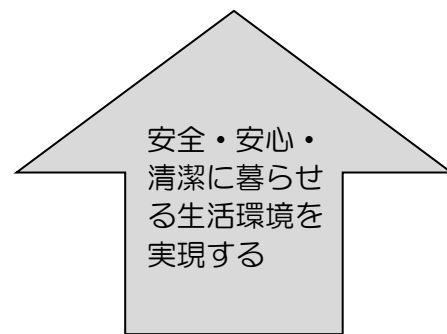
【国】水道ビジョン 策定（平成16年6月）
【基本理念】 「世界のトップランナーを目指してチャレンジし続ける水道」
【政策課題】 「安心」「安定」「持続」「環境」「国際」

【国】新水道ビジョン 策定（平成25年3月）
【基本理念】 「地域とともに、信頼を未来につなぐ日本の水道」
【政策課題】 「安全」「持続」「強靱」



【局】水道ビジョン 策定
（平成21年3月）
計画年度：平成21～30年度

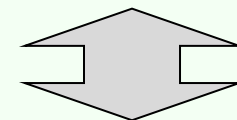
【基本理念】
潤いのある水源を守り安全でおいしい
水をお届けします
【基本目標】
◆安全で安心なおいしい水の安定供給
◆災害に強い施設づくりの推進
◆安定した経営基盤の確立
◆環境にやさしいエネルギー対策への
貢献



【市】第一次上田市総合計画 策定（平成19年12月）
「日本のまん中 人がまん中 生活快適都市」
計画年度：平成20～27年度

新たな「計画・戦略」を策定
更なる持続的な発展を見据えた目標設定

公営企業経営戦略 策定（総務省）（平成29年3月）
《中長期的な経営の基本計画を示す》
◆投資・財政計画
◆経営基盤強化や財政マネジメントの向上

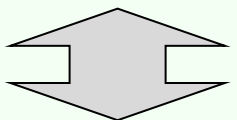


水道アセットマネジメント
《中長期的なアプローチで財源の裏付けある更新計画を示す》

【標準型】 策定
（平成27年3月）
◆資産の現状把握に基づく
更新計画



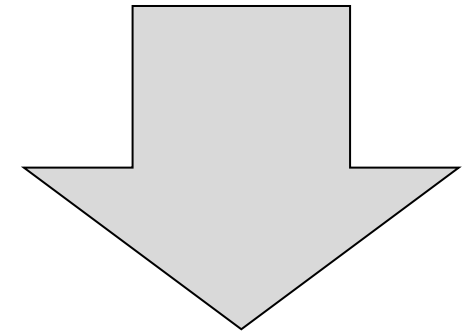
【詳細型】 策定
（平成28年8月）
◆管路のダウンサイジング
を踏まえた更新計画



浄水施設、配水池等の耐震化計画（マスタープラン） 策定
（平成29年3月）
《浄水施設、配水池等の耐震化順位の設定等を示す》

上水道事業認可統合（平成29年3月）
《全市的な効率的な水運用計画の立案が可能となる》

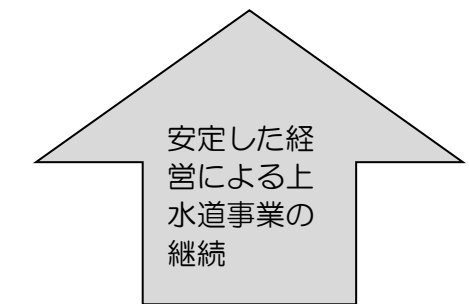
水安全計画（水質危機管理マニュアル）策定
（平成28年9月）
《水源から給水栓に至る統合的な水質管理計画を示す》



【局】水道事業ビジョン 策定
（平成30年度予定）
計画年度：平成31～40年度



【局】耐震化計画 策定
（平成30年度予定）
◆想定地震に備えた施設、管路の更新計画
【標準型】水道アセットマネジメント（見直し）策定
（平成30年度予定）
◆資産の現状把握に基づく更新計画



【市】第二次上田市総合計画 策定（平成28年3月）
「ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる健（康）幸（福）都市」
計画年度：平成28～37年度

- * 水道ビジョン：
将来を見据えた水道事業の理想像、方向性、実現方策等を示す
- * アセットマネジメント（資産管理）：
資産（設備）の状態に注目することで投資・維持管理を適切に管理運営（マネジメント）し「収支バランスのとれた健全経営」と「資産状態の健全化」の両立を目指す手法

下水道事業ビジョンの考え方について

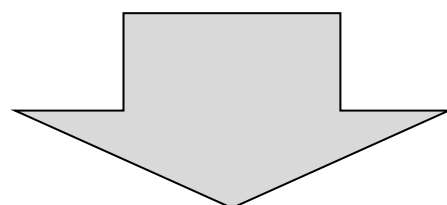
～下水道事業の将来構想の政策方針～

下水道ビジョンとは
施設の効率的運用と健全経営を図るため、下水道事業(概ね10年後)の将来像と実現施策を示す

平成30年7月23日
上下水道審議会
資料 8

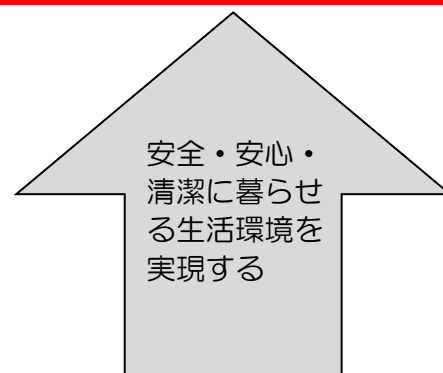
【国】下水道ビジョン(平成17年9月 策定)
【下水道の使命】 「循環型社会への転換を図り、良好な環境の形成並びに安全な暮らしと活力ある社会の実現を目指す」

【下水道の役割】 「良好な環境を創造する」
「安全な暮らしを支える」
「21世紀の活力を支える」



【上下水道局】下水道ビジョン
(平成21年3月 策定)
計画年度：平成21～30年度

【基本理念】
持続可能な下水道を創り、地球にやさしい水のリサイクルをします
【基本目標】
◆暮らし(快適)
人と地球にやさしい持続可能な水循環を創る
◆安全・安心(施設再生)
安全で安心な生活快適都市うえだを支える
◆経営(安定)
安定した経営基盤の確立
◆環境
資源を活かした地球にやさしいまちづくりに貢献

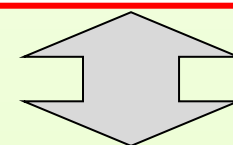


【上田市】第一次上田市総合計画(平成19年12月 策定)
「日本のまん中 人がまん中 生活快適都市」
計画年度：平成20～27年度

新たな「計画・戦略」を策定 更なる持続的な発展を見据えた目標設定

公営企業経営戦略(平成29年3月 策定)
《中長期的な経営の基本計画》

- ◆投資・財政計画
- ◆経営基盤強化や財政マネジメントの向上



下水道ストックマネジメント 策定(平成30年度策定予定)
計画年度：平成31～35年度
《長寿命化対策に維持・修繕を含めた新事業計画の策定》

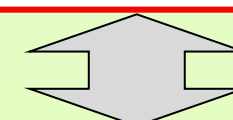
(施設管理の最適化)
◆長期的な視点で管理を最適化する事を目的に、施設の点検・調査・修繕・改築を実施



(経営管理)
◆使用料、減価償却費、起債等の中長期的な見直し等



(執行体制の確保)
◆組織体制の整備
◆維持管理の広域化
◆民間委託の活用



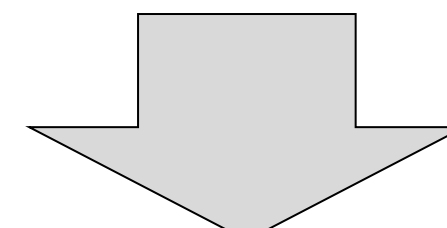
上田市下水道長寿命化計画(平成25年度 策定)
計画年度：平成25～30年度
《処理場、管渠、マンホールポンプの改築優先順位の設定等》

上田市公共下水道総合地震対策計画(平成29年度 策定)
計画年度：平成30～34年度
《処理場、管渠、マンホールポンプの防災・減災対策を推進する計画》

農業集落排水統合事業
(平成28年度～)
《効率的な施設の更新および運転維持管理による安定経営》

【国】新下水道ビジョン(平成26年7月 策定)
【下水道の使命】 「持続的発展が可能な社会の構築に貢献」

【下水道の役割】 「循環型社会の構築に貢献」
「強靱な社会の構築に貢献」
「新たな価値の創造に貢献」
「国際社会に貢献」



【上下水道局】新下水道ビジョン 策定
(平成30年度策定予定)
計画年度：平成31～40年度



【上田市】第二次上田市総合計画(平成28年3月 策定)
「ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる健(康)幸(福)都市」
計画年度：平成28～37年度